

市内で活動中のクラブ、サー
を募集しています。
まで。

1月号から「広報おかや」は月1
回の発行となります。そのため、今
月号のクイズの締切りは、13日必着
になります。いつもより早い締切り
ですが、よろしくお願いします。

◎前回の答え（11／1）と当選者

問1－③固定資産税

問2－①岡谷市収穫祭 問3－①13

正解総数29通（応募総数29通）の中から抽選で、H・
Mさん（長地梨久保1）、I・Sさん（今井）、M・Hさ
ん（長地権現町1）、A・Hさん（湊5）、Y・Mさん（長
地権現町1）にロマネット入浴券をお送りします。



問1 道路の除雪は○cm以上の時に行な
います。
①5 ②15 ③30

問2 12月1日からはじまる「ながの電
子申請サービス」で、手続きでき
るのはどれ？
①水道開栓申請 ③戸籍申請
②住民票申請

問3 おかや市民のつどい、講演のテー
マは、「男女共同参画前向きに○
○考える」です。
①明るく ②楽しく ③まるく

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、
ひと言を書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所（住
所不要）》までお送りください。抽選で5名の方にロマネット入
浴券をお送りします。12月13日必着。（ひと言は「みんなの声」
に掲載させていただく場合があります）

使い捨て生活にすっかりはまってきた私達。
困った事に、実際私達は、新しいモノ、便利に
見えるモノの誘惑に弱いのです。近頃になって、
大量消費、大量廃棄の経済システムにすっかり
のせられて来た私達の生活を見直す事がさかん
に言われる様になりました。消費だけでなく情
報や人の繋がりがまで使い捨てにされる時代。し
かし憂う事なかれ、山田さんにお話を伺うと、
地域での人の繋がりがエコロジー生活に繋がっ
ている事を感じました。

衛生自治会、エコライフ岡谷の活動をお聞き
しますと、ゴミパトロール、諏訪湖清掃からは
じまり、子ども達へ環境教育のビデオ製作、エ
コフェスティバル、マイバッグキャンペーン、
エコクッキング講座など、みなさんの意識に訴
えるイベントを多く行っています。

ある調査で、エコクッキングの講習を受けた
グループと受けないグループで、同じメニュー
を作ったところ、受けない方では水使
用量6倍、出た生ゴミは5倍という結果がでた
そうです。これが毎日だと大きな差が出ます。
環境に良い事を学ぶのは、実はかなりみなさ
みに入れる便利さ
と引き換えに何が犠
牲になっているか、
どこへしわ寄せがい
っているのか、考え
ながら生活してみ
せんか。



▲生ゴミ回収袋
私も生ゴミリサイクルにチャレンジ。
可燃ゴミをけっこう減らせる事がわかりました。

市民しポーター だより

小平陽子さんの
脱・使い捨て生活レポート

エコで自分にお得
環境に優しい生活を

衛生自治会連合会 山田 典幸 さん
やまだ のりゆき



市民レポート
小平 陽子 さん
こたいら ようこ

んにとつてもお得な情報が得られる事が多いの
ですね。雨水タンク、緑のカーテン作りなど、
エコで楽しむこともできます。

身近にゴミをほとんど出さずに暮らしている
という方もいて、そんな生き方はとても素敵に
みえます。マイバッグ、マイバスケットを持参
する方も多く目にする様になりました。生ゴミ
収集もモデル地区で開始されてから1年、良い
結果が出ているそうです。

おなじみの3R（リデュース・リユース・リ
サイクル）ぜひもう一度、意味合いを確認して
みてください。リサイクルももちろん大切ですが
経費もかかります。まずは各々ができるリデ
ユースにポイントを置く事が、環境の根本を見
直す事への近道かもしれません。



即戦力になる 技術者めざして

やま だ とし ひ こ
山田 俊彦 さん
(長地鎮)

❓ 心掛けていることは？
わからないことをそのままにせず、自分が納得いくま

❓ 岡谷技術専門学校では何を？
岡谷技術専門学校には自動車整備科とものづくり技術科があり、ものづくり技術科で自動制御や3次元CAD、マシニングセンタ加工などを学んでいます。

❓ 岡谷技術専門学校を選んだきっかけは？
製造業の仕事に就きたいと思っていましたが、何を学べばいいのかわかりませんでした。そんな時、岡谷技術専門校のカリキュラムを見て、実践的なことを短期間で集中して学べ、自分にあった仕事を見つけられると思ったからです。

❓ 先生に聞いたり、勉強したりしています。勉強していくうちに自分の力でできたときの喜びは大きいですね。

❓ 休日は何をして過ごしますか？
車のドレスアップに取り組んだり、ドライブを楽しんだりしています。

❓ あなたの目標は？
学んだことが活かせる会社で、自分の可能性を試して、責任のある仕事を任されるようになりたいです。

❓ エンジニアをめざす若者へ一言
ものづくり技術科では、製造業の基礎と面白さ、楽しみが見つかります。学ぶことは自信につながるの、興味のある人はぜひ岡谷技術専門学校で学んでほしいです。

❓ 学んだことが活かせる会社で、自分の可能性を試して、責任のある仕事を任されるようになりたいです。

❓ エンジニアをめざす若者へ一言
ものづくり技術科では、製造業の基礎と面白さ、楽しみが見つかります。学ぶことは自信につながるの、興味のある人はぜひ岡谷技術専門学校で学んでほしいです。

❓ 学んだことが活かせる会社で、自分の可能性を試して、責任のある仕事を任されるようになりたいです。

ユニークで多彩なニュージーランドの保育

最近、仕事や私生活で日本やニュージーランドの女性の社会的な立場について考えさせられる機会が多くありました。

その一つはやはり子育て支援、特に子どもの就学前教育のことです。例えば岡谷市の場合は、保育園と幼稚園の他に児童を預ける施設はほとんどありません。多くの保育園は自治体に運営され、仕事や病気などの理由により、自宅で保育できない親に代わって子どもを保育する場所である、児童福祉施設となっています。

しかし、多文化社会のニュージーランドでは、保育園等の福祉施設ではなく、それらは幼児教育施設として位置付けられています。幼稚園、プレイセンター、プレイグループ、プレスクール等のような保育施設に子どもを通わせるのが普通ですが、ベビーシッター、ナニー、ホームデイケアサービス、通信保育などを利用する家庭型の保育も盛んとなっています。

その地域や民族のニーズによって保育サービスが立ち上げられることもあり、民間主導でありながら、行政支援で運営さ

れています。このような施設は子どもの社交性を養い、言語や文化の違いを学ぶ大切な場とされています。もちろんそれぞれの教育方針や保護者の都合に合わせて選ぶことができ、

子どもが生まれる頃から就学するまでに、ほとんどの就学前教育機関に触れることは当然の前ようです。

ニュージーランドでは以前、幼児教育が政府にあまり重視されていませんでしたが、近年では、幼児教育の重要性が認識され始めました。女性の「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）、いわゆる女性（とその家族）の有給の仕事、家族、その他の役割のバランスをとるため、選択肢を確実にもつことができるように、質の高い幼児教育の利用可能性の向上、年齢に応じた学齢児童への学外保育サービスをはじめとして、政府が様々な政策を取り組んでいます。

制度や法律などはもちろん違いますが、日本が男女共同参画先進国として知られているニュージーランドから女性への支援、子育て支援を学べることは数多くあると思います。



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.37